

地域科学特別演習 I

Special Seminar on Regional Science I

8単位 (必修) 1年 (通年), 2年 (通年)

石井 健二・教授 / 地域科学専攻 (博士前期課程) 地域創生

【授業目的】地域の文化情報にとって芸術領域がどのようにかわりあうかというテーマについて、同授業では特に映像文化を中心に受講する、大学院生が考察し、地域と自分との関わり方を研究する。

【授業概要】修士論文作成の為の指導を行う。また、講義内容を聞きながら、指導する大学院生とどのようなかたちで修士論文を完成させてゆくかについて、本人がこれまで研究してきた内容との関連も配慮しながら十分に相談し、論文のテーマを決定した後、先行研究の文献・資料類等を収集する。そして論文を完成させる為の土台となる諸々の勉強を開始する。

【キーワード】映像文化活動

【履修上の注意】石井研究室所属の院生を対象とする。講義はマルチメディア B 棟 2階ゼミナール 12室にて行う。

【到達目標】修士論文のテーマを決定し、専攻研究の文献・資料類をインターネットによる検索も含めて収集する。併せて、論文作成の土台となる諸々の勉強をする。

【授業計画】私の研究領域は「19世紀中期以降現代に至る、写真画像情報表現研究」であるが、自分自身が生活している地域環境を念頭に置きつつ、専門分野の観点から、地域文化の一端に貢献して地域を活性化させる事を考えながら授業を行いたい。広い意味における映像文化と言うものが、自然な形で地域に浸透してゆくことお希望しており、私自身のライフワークとしての研究テーマ「19世紀中期以降現代に至る、写真画像情報表現研究及び画像保存・修復技術の研究」が現在の地域環境に貢献する具体的な方法を、この授業を通じて試行錯誤的に研究して行きたい。

【成績評価】本授業は研究室所属学生の修士論文指導のために開講されるものなので、特に試験は考えず、平常点にて単位を出す。

【再試験】行わない。

【教科書】大学院生本人との相談の中で、臨機応変に考えていきたい。

【参考書】授業の中で配布する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgj-bin/toURL?EID=218157>

【連絡先】

⇒ 石井 (マルチ B-203, 088-656-7165, ishii@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 木曜日 昼休み)

【備考】

- ◇ 大学院 1・2 年生の前・後期開講
- ◇ 平成 23 年度 前期 木曜日の 1・2 講時 後期 木曜日の 1・2 講時 開講
- ◇ 講義はゼミナール室 ⑫で行う。
- ◇ 講義は石井研究室所属の院生を対象とする。